

令和6年度第1回西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議 議事要旨

日 時：令和6年7月18日（木）午後2時～3時30分

場 所：西宮市役所池田庁舎 1階講堂

出席者：内藤委員長、川崎副委員長、藏田委員、潮崎委員、白石委員、坪内委員、林委員、
澤田委員、高尾委員、北原委員

（事務局）

町田健康福祉局長、福田保健所長、園田保健所副所長

国民健康保険課 鴛海課長、高齢者医療保険課 岡課長、地域共生推進課 村田係長（代理）

学校給食課 神田課長、教育研修課 山田課長、学校保健安全課 小濱課長

美化企画課 藪内課長、農政課 守屋課長、

食肉衛生検査所 梅田所長、生活衛生課 青木課長、藤田係長

地域保健課 高槻担当課長、樋口係長

健康増進課 反田課長、中東担当課長、向井係長、安土管理栄養士、北原主任保健師、小坂保健師、福永歯科衛生士

1. 開 会

資料の確認。

健康保険組合連合会兵庫連合会から選出の山内委員の辞任に伴い、7/1より北原氏就任。

岸本委員、北川委員、船橋委員欠席

出席委員10名、欠席委員3名、半数以上の出席につき会議の成立の確認。

傍聴希望無し。

甲南女子大学・県立総合衛生学院の見学実習あり。

内藤委員長に議事進行をお願いする。

2. 議題・・・議事進行（委員長）

（1）「第3次西宮市健康増進・食育推進計画」について（資料1、2、3、4）

事務局より資料1、2、3、4について説明。

<ご意見>

委員：資料4の休養・こころの健康分野の活動指標1.こころの健康づくりに関する講座等の参加者数の目標の伸びが突出して大きいけどどのように増加させるのか知りたい。

事務局：新規の講座等があるわけではないが、コロナ禍で実施できていなかった講座の再開や、新たに自殺対策計画も策定しており、計画推進の一環で取り組みを充実させるものです。

（2）「第3次西宮市健康増進・食育推進計画」に基づく今年度の取り組み予定について

（資料5-1、5-2）

事務局より資料5-1、5-2について説明。

<ご意見>

(健康づくり)

委員：アルコールの分野で、神戸女学院大学祭でのお酒の飲み方チェックとしてパッチテストをしたと記載があり、実施人数が 600 人とあったが、その内容やその後の指導方法を知りたい。

事務局：取り組みをできる機会が少なく、20 歳未満の飲酒の影響についての啓発として実施している。飲める方には生活習慣病のリスクについてのリーフレットも併せて配布、飲めない人へは急性アルコール中毒になる危険性もあることも含めて伝えている。パッチテストという体験型での実施で、リーフレットを配布するより興味をもって話を聞いてもらえると期待し実施している。今後広げていきたい。

委員長：アルコールの問題は、女性の健康やがんの予防にも関係するので、分野横断的に、位置付けてもいいのではないかと思う。

委員長：フレイル対策があるが介護予防との関連やほかの事業との関連は議論されているのか。関連性を考えながら実施する方が有意義かと思う。

事務局：庁内で地域包括ケアシステム推進会議をもっており、その中でフレイル予防について国民健康保険課、高齢者医療保険課、福祉のまちづくり課等の関係課と一緒に対策をすすめている。

委員：関西学院大学の啓発は禁煙に関する啓発事業でしょうか。スモーカーライザーを使用してやっていたと思うが。

事務局：今年度、関西学院大学の新生への啓発として初めてリーフレットの配布を実施した。体験型の取り組みはできていないが、今後計画していきたいと考えている。

(食育)

委員：安全・安心で持続可能な食をつなぐ食育のところで食品衛生責任者実務講習会は結構な頻度である。講習会のやり方も集合かオンライン等で変化してきているため、先を考えてやっていないといけないと思っている。食中毒についても啓発の活動をしているが、巡回指導員も高齢化が課題なので、食品衛生協会の在り方と保健所との関連の仕方を考えていきたい。

事務局：今後他の自治体の状況も踏まえて、連携してやっていきたい。実務講習会についても法改正後の制度で他の自治体も手探りなところもあるので、各団体負担にならないような啓発を考えていきたい。

委員：5-2 研修会のところで、保育所や学校でプロ向けの研修会を実施しているかと思うが、テーマはどのように決めているのか。対象者から意見を吸い上げるような仕組みはあるのか。

事務局：給食施設研修会では栄養摂取基準等法改正等があればそのような内容を取り上げたりして

いる。また、県や国の動きを見ながら、近年であれば災害のテーマ設定をしたりしている。

委員長：計画では有事のことをあまり触れていない。計画以外で議論はされているのか。有事の時の対応も感染症や地震、洪水、温暖化、戦争等いろいろなことがあるのですべてに対応は難しいとも思うが、何か情報があれば提供してほしい。

事務局：保健所の健康危機管理については保健総務課が中心となり検討している。

委員長：食では円安や温暖化、戦争等で食材に影響があり苦労していると聞いている。そのあたりが議論されているのか。食育とは違う場で議論も必要ではないか。

事務局：学校給食では現在の食材の高騰に関しては、食材費は抑えるがエネルギーはしっかり摂取できるようにいろいろ工夫していると聞いている。

委員長：非常時の準備が必要だと感じるので体制を整えられたらいいかと思う。

(3) 今年度の重点的な取り組みについて（資料6、7-1、7-2）

事務局より資料6、7-1、7-2について説明。

<ご意見>

(健康づくり)

委員：女性のがん検診の受診率向上ということだが、現在も無料クーポンや受診勧奨を実施していると思うが重点テーマとしてどのように充実させていくか、考えていることがあれば示してほしい。

事務局：女性のがん検診については、無料クーポン事業や受診勧奨を行っている。子宮頸がんはワクチン接種もあるため、若い年代の人向けに講演会や研修会等、子宮頸がん予防という意味で広く啓発・周知に取り組んでいる。

委員長：女性の健康についての取り組みを行政の方で粛々とするのか、広報を大々的にして市民に伝えるのか、どのようにすすめていくのか。

事務局：まだ広報までは議論できていない。新規事業は難しいが、女性の健康週間等の啓発時期も活用し、庁内横断的に取り組みをできればと思っている。

委員：健康寿命の延伸をテーマにということですが、女性の方が、日常生活が自立していない期間が長く、骨粗しょう症や骨折・転倒等への対策は何か検討しているのか。

事務局：文言にはしていないが、女性特有の健康課題で骨粗しょう症対策は重要と考えているが、市の検診を増やすことは難しい。既存の事業の中で対策の重要性の普及を各世代にしたい。

委員長：骨粗しょう症検診受診率については、国も目標値としているので、記載はないが事業と

しては進めていくと考えていいのか。

事務局：市の検診事業としては継続していく。また運動や栄養の分野からの啓発や取り組みができればと思っている。

委員長：若いうちからの啓発が必要かと思う。市民に対してのリテラシー教育が重要となってくるので頑張ってもらいたい。

委員：持続可能な開発目標SDGsの中で誰一人取り残さないということが挙げられている。

女性は非正規雇用であったり、家族の介護や養育で社会から分断される時間があると思われる。少子化対策へも関わってくると思う。女性が小さいころから学校教育で一体的包括的に学び、心も体も健やかに、自分の人生を生きていく啓発や教育が大切だと思う。

委員長：西宮市の平均寿命は全国に比べいいので市民の方に知ってもらえたらいいのではないかと介護になってからの体制も維持してもらえたらいい。

委員：がん検診の胃がん大腸がんの未受診者の比率が高いが、バリウムを除外する人が多い。具体的に受診率を上げる取り組みがあるのか。

事務局：市の胃がん検診としては、医療機関での内視鏡も選択できる。市の検診は職域の検診分が含まれないため低くなっている。市としては職域でも市でもどこかで受診してもらうことが重要と考えている。

委員：内視鏡検診が始まって数年のため現在移行期である。軌道に乗れば結果がでてくるのではないかと。

(食育)

委員：全国的にも野菜摂取向上はなかなか増えず、難しい課題である。今後、保健部門と農政部門で連携していく計画はあるか。

事務局：具体的な計画までは至っていないが、既存事業を活用し横断的に取り組みたい。

委員：食品ロス削減を意識する人の減少とあるが、著しく減少しているのでしょうか。取り組みの中で貢献できるなら今年度の取り組みに含んでいきたいので教えてほしい。

事務局：令和4年度の市民アンケートの結果となる。食品ロス削減の必要性を感じているが実践できないところもあるのかと思われる。事業担当としては市民の意識は向上しているように感じている。

委員：バランスよく食べてもらうために「さあ、にぎやかにいただく」を配布したが、1枚ものなので捨てられそうだが、計画の普及版に掲載があるので文化祭等で配布させていただきたい。

委員長：高齢者に低栄養・やせが多く、タンパク質摂取も大事であるので、野菜の摂取も大事だが、ライフステージによってメッセージを変える必要があるのではないか。

事務局：低栄養についての懸念もあり、塩分摂取を控えるとか、総カロリーの摂取を控えるとか減らすというよりは、増やすというところのテーマに持っていかうということで今回野菜の摂取の量を増やすことを選んだ。低栄養予防については、フレイル対策事業のポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチと並行してすすめていく。

内藤委員長：メディアに打ち勝つよう、行政からの正しい情報発信を頑張ってもらいたい。

委員長より、本提案について承認いただけるか確認。全員一致で承認。

(4) 普及版リーフレットの配布について(資料8)

事務局より資料8について説明。

<ご意見>

なし

3. 事務連絡

今年度の推進会議は、年2回の開催予定。次回は、令和7年2月頃を予定。

4. 閉会